

ふしぎ発見!

近くの川や湖に住んでいて、おなじみの生物たち。でも、よく観てごらん! 面白い生態や物語が見えてくるよ。



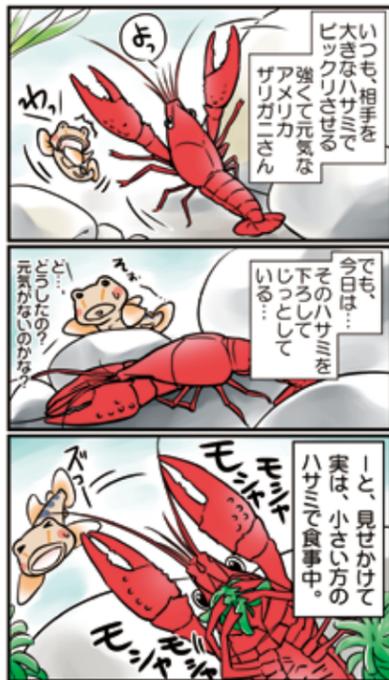
実は「侵略的外来種」

アメリカザリガニ

その名のとおり、アメリカからやってきた彼ら。たった20匹からここまで増えたんだよ(驚)! 雑食性で、藻や水草、小魚や水生昆虫など何でも食べます(汗)。食欲旺盛で、風系やスルメを使うだけで釣り上げられることもできるよ!

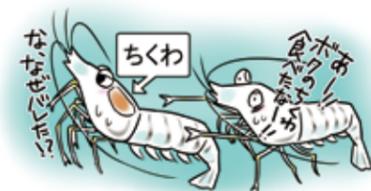


食事の時は、小さな手を使って上手にパクパク。大きくて立派な2本のハサミは、外敵から守るため威嚇に使ったんだよ。



スジエビ

透明でキレイ☆でも実は...



ちっちゃくて透明でかわいく見えるけど、実は肉食性でとても凶暴! 小さな魚などを襲って食べちゃいます(汗)。魚を飼っている水槽には入れないでね。



カワムツ

星は強さの証し

カワムツは川の上流域に近い水がきれいなところに棲んでいます。カワムツの中でも特に大きなオスの顔に注目してみると、白いブツブツがいっぱい...(汗) これは追星(おひし)といって、成熟したオスに見られる特徴で、なわばり争いに勝ち、えさをたくさん食べられる強いオスの象徴なんだよ! この追星を使って、なわばりに侵入してきた魚に攻撃して追い出すんだよ。カワムツのオスの間では、強さによって順位が決まり、順位の高いオスしかメスとつがいになることができないそう。カワムツ界ってキビシイですね...(汗)



水の中に棲むカメムシ?! ナベブタムシ

丸くて平べったい鍋蓋のような形をしています。上流域の水がきれいなところにも指定されているよ。水生昆虫だけど実はカメムシの仲間! タガメやミスカマキリ、そしてなんとアメンボも同じ仲間なんだって(驚)! でも臭いはしないよ。



長浜市ではこんな活動もしているよ!

長浜市水生生物少年少女調査隊! みずすまし

自然を大切に子どもを育てます

子どもたちが楽しみながら川の中の生物を調べること環境を見る目を養い、身近な環境への関心を高める活動です。また子どもたちの活動を通じて、自然を大切にする行動が市民全体へと波及することを目的としています。昭和62年に発足して以降、延べ6,442人の子どもたちが調査に参加してきました。



水生生物を楽しみながら捕まえた後はしっかりと観察を行います。「なんでこの生き物がここにいるんだろう?」「雨で流れてきたからかな?」子どもたちの間でいろいろな疑問や意見が出てきます。



網を持って調査開始!! 底の泥や砂利をすくったり、石を裏返したり。「どじょうがとれた!」「どんなトンボのヤゴかな?」皆んな楽しそうに生き物を採集していきます。



滋賀大学教育学部 環境教育講座 石川 俊之 准教授

水の中は身近な野生の世界

生き物が豊富で、草食の動物が植物を食べ、肉食の動物が他の動物を食べるとい世界はテレビの向こうにしかないと思っいていませんか。こういった野生の世界は身近な環境にもみられます。

例えば、びわ湖のアユは動物プランクトンを食べ、動物プランクトンは植物プランクトンを食べています。食物連鎖を考えると、アユはまるでアフリカのライオンのような位置になります。水の中の野生の世界は、アフリカのサバンナと比べても同じように面白い世界です。身近な野生の世界にふれることで、楽しみながら学習をすることができ、自然環境への意識を高めることができます。ぜひ水の中の生き物にふれてみてください。



実際に川に入って生き物を観察するよ! 今日紹介した仲間やボクと出会えるかも!



問合せ・申込み

湖北野鳥センター(湖北町今西) (☎79-1289)

広報ながはま×湖北野鳥センター連動観察会

水辺の生き物を観察しよう!

【とき】 8月19日(土) 9時30分~12時

【ところ】 湖北野鳥センター 集合
その後車で水路に移動

【持ち物】 飲み物、タオル、筆記用具、着替え
ぬれてもいい靴(サンダル不可)

【定員】 40人(先着順)

【参加費】 大人200円(湖北野鳥センターの入館料)
市内在住の小中学生、幼児は無料

【申込み】 電話または直接右記まで。